

## 働き手を増やす

### 「TDKにかほへ新工場」

3月、TDKはにかほ市内への新工場建設を公表しました。今回の建設は3期計画とされており、更なる拡大も見込まれています。

同時に、今後3年間に東北で2千人の雇用を創出するとの内容も発表されました。「東北」とは北上地区と秋田地区です。特に今回の新工場建設からもわかるように秋田地区での採用が大きなウェイトを占めるものと思われます。もちろん組織再編などによる異動も含まれているとは思いますが、やはり秋田地区での新規採用が活発になるのは間違いないことだと思います。

今回のTDKによる新たな設備投資と新規雇用の拡大は大変嬉しいことです。当然のことながら市はできる限りの協力をしていきたいと思っています。

### ■慢性的な人手不足

これまでもTDKのここ数年の採用活動は活発でした。ですが、実際の採用人数は希望する人数の半分以下に抑えてきました。それは地元中小企業の採用活動を阻害しないためでした。

昔のように地元にも多くの若者がいた時代ではなくなっています。現在は中小企業のほぼすべてが慢性的な人手不足に陥っており、さらにこの状態が広がっていくことは明らかです。

### ■どのようなスタンスであるべきか

もちろん地元企業の皆さんも手をこまねいているだけではありません。外国人技能実習生を受け入れたり、IoT技術の導入を図ったり、定年年齢の引き上げや採用時の年齢要件を廃止したり、働く時間の既成概念を根本から見直したりと、いろいろな方法で人手不足に対応してきています。

これらは巷間言われている、①人材確保、②生産性の向上、③業務縮小、といった企業が取り組むべき人手不足への対応そのものです。言えることは、いずれもこれまでの雇う側の論理だけでは経営が成り立たなくなっているということだと思います。その一方で、体力に劣る中小企業が大企業並みに従業員の待遇改善を図ることが困難なこともまた事実です。このときに問われてくるのが「行政は何をすべきか」だと私は思っています。

### ■取り組みの方向性

人手不足対策として言われているのは「働き手を増やす」と「働き手を減らす」の大きく2つです。

「働き手を増やす」とは女性・高齢者・外国人の3者を労働力として確保することです。もう一方の「働き手を減らす」とは人の代わりにAI・IoTを活用することで生産性を向上させることです。前述の地元企業の皆さんの取り組みもまさにこの方向性に則ったものと言えます。



にかほ市長  
市川雄次

これまでも市は企業人材育成支援事業や就業資格取得助成事業、若者定着セミナーといった形で人を通じての企業支援に取り組んできました。14年前のリーマンショックによる雇用悪化への対策として始められたものもありますが、現在の人手不足対策に効果があるものは今も継続して実施しています。

今後の行政が取るべき方向性は「働き手を増やす」ことへの更なる支援だと思っています。例えば、女性の働きやすさのためには子育て環境の更なる充実が必要でしょう。高齢者が働き続けるためには健康を担保できる取り組みが必要だと思えます。外国人技能実習生についてはにかほ市で働くことの意義を感じてもらえるような取り組みをしなければならぬと考えています。

既に取り組みを開始している事業もありますが、まだ手付かずの領域があることもわかってきています。その一つが若者への直接的な支援です。今後さらに問題点の洗い出しを行いながら、目の前に横たわるこの大きな課題の解決に取り組んでいかなければならないと強く感じているところです。



皆さん、こんにちは。仁賀保高校山岳部です。当部は、山岳競技を通じて山の魅力を知ることと山の中でも生き抜く力と知識を身に付け、誰よりも山を楽しむことを目的として活動しています。

昨年度は2年生1人、1年生4人で活動をしてきました。部員は、体力トレーニングと知識を身に付けるため、各自で自身のメニューを考え日々の練習に励んでいます。以前は部員が少なかったため、大会では個人戦にしかエントリーができず、できることも限られていたのですが、昨年から団体戦にも参加できるようになり、少しずつ本格的に部として活動できるようになりました。仁賀保高校は鳥海山が近いことから身近な場所でも本格的な練習をすることができ、またロッククライミングのできる部室もあるためさまざまな方法で体を鍛えています。

直近の大会では、各自が身に付けてきた力を発揮することで少しずつですが結果を出

## 本格的な環境で トレーニングに 励む



▲部室内のクライミングウォール

すことができました。現在は、各自の弱点を克服するため新たな目標を立て練習に励んでいます。次の大会では楽しむだけでなく、それに伴った結果もついてくるよう、また各自が立てた目標が達成できるよう努力していきます。

### ■新設!!「地域デジタル探求コース」

令和4年度から本校の普通科に「地域デジタル探求コース」が新設されました。県内では、本校の他に大館国際情報学院高校、湯沢高校、羽後高校の3校にも設置され、デジタル社会で活躍する人材の育成を目指し、今年度の入学生から取り組みが始まっています。情報通信技術（ICT）について高度な知識を持つ外部人材を活用した授業もあり、幅広い学びができるコースとなっています。



秋田県立  
仁賀保高等学校

当校では、ボランティア活動による地域貢献、情報発信力強化による地域の活力向上など、地域課題の解決に向け「自分たちのまちを、未来を、楽しく面白く」していくためのアイデアを形にしていく取り組みを行っています。



仁賀保高等学校